

憧れの木の温もりあふれる家は
開放感があるのに
暖かいのが自慢



吹き抜けからも光が降り注ぐ明るいリビング。大きなもみの木のテーブルは、モデルハウスにあったものを奥さまが気に入って下さり、同じものをオーダーしました。

次世代の住まい
CASE 26
宮城県白石市
Mさんの家
取材日/2012年4月



奥様のご希望で、ご主人が植えたシンボルツリーのもみの木。家族と一緒に時を過ごしながら大きくなっていきます。

Mさんご夫婦が、住まい造りを考えたのは、上のお子さんが小学生になり、2人目のお子さんも生まれたので「子どもたちが走りまわって遊べるような広々とした家に住みたい」と思ったことがきっかけでした。「家を建てるなら木に囲まれたログハウスのような家が憧れだった」とご主人。

以前アヴィエスホームで家を建てた知り合いから、もみの木の良さを聞いていたこともあって、りんくうタウンのモデルハウスへ。天然のムク材を使った家を希望していたご主人にとって、もみの木の家との出会いは「ひとめぼれみたいなものでした」と振り返ります。奥さまも「セミナーなどでももみの木の説明を聞くうちにすっかり「もみの木ファン」に。冬の宿泊体験で木の温もりや暖かさを実感したことも決め手になりました。

「希望を取り入れながら、いろいろ提案をしてもらってスムーズに進んだ」という打ち合わせ。白石城を目の前に眺める場所に完成した家は、仕切りをなくし、スペースを有効に使った間取りや自然光が降り注ぐ吹き抜けなど、明るく開放感のある空間が印象的。木の温もりあふれる快適な我が家ができました。

M様の住んでいたアパートが地震で被害に遭われ、会社の先輩のS様に相談されたところ、「友人が住宅メーカーに勤務している」という事で、S様同行にて展示場に来店頂きました。初日は奥様が二人目のお子様を出産されたばかりで、ご主人とS様のお二人で来店されました。展示場をS様になり、ご主人が健康についてとても興味を持って下さり、次の週に奥様と一緒に来店されて、ご契約して頂きました。小上りにした和室、開放的な吹抜の有るリビングが、共働きの為、2階には部屋干しが出来るスペースなど、こだわりをもった空間が完成しました。紹介してくれた友人のS様の顔を「おなじみ」の様に見え、M様ご家族の喜ぶ顔が見たくて精一杯仕事をさせて頂きました。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

担当より一言

営業 山家

昨年7月に入居。実際に住んでみて、もみの木とスピンオフの壁のおかげで「空気がいい」のを実感したとか。冬も暖かく快適なキッチンでは、ご主人もお酒のつまみなどちよっとした料理をするようになり、楽しみも増えました。



壁一枚で空間を仕切ること、キッチンから水回りへ、リビングのくつろぎのじゃまをしない家事動線を確保。奥さまのアイデアで3つ並べた小窓がおしゃれなアクセントになっています。



ご主人のパソコンコーナーのある2Fホール。天井に埋設型の物干しを設置して、室内干しもできるスペースに。



最初の設計では壁の予定だった階段の上がり口を手すりに変更。意匠を凝らしてインテリアのポイントに。



キッチンのカウンターはご主人のお気に入り。夜はお酒を飲みながら本や雑誌を読んで過ごします。



広々と暮すためにドアや引き戸などを極力なくした設計。リビングと続きの和室にも仕切りはなく、床を一段高くしたことで空間に変化を付けました



CASE26:宮城県白石市 Mさんのお宅
家族構成:夫・妻 長女、長男
延べ床面積:約32坪 部屋:5LDK
こだわり設備:1F、2Fもみの木の床 スピンオフ壁 太陽光発電



リビングの吹き抜けを見上げたところ。吹き抜けは自然光をたくさん取り込み、開放感を演出。



もみの木の床は「掃除がしやすく、助かります」と奥さま。調湿作用で毎年悩まされた結露もなく快適です。



東日本大震災以降、ますます注目の集まる太陽光発電。「電気代が抑えられて本当にお得です」とご主人。

